

選 定 理 由 書  
(中學校用教科用図書)

第 1 0 採択地区教科用図書選定協議会

# 国語調査部会

国

語

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 国語

発行者 番号	光村図書 38	教科書名	国語
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全学年に「言の葉ポケット」を設け、語彙を探したり、比べたりする活動を取り入れ、語彙指導の充実を図っている。</li><li>・「語彙ブック」を生徒が必要に応じて参照できるようになっており、使用語彙を増やし、語感を磨けるようになっている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習を通して身に付ける資質・能力を「学びのカギ」に明示し、確実に身に付けられるようになっている。</li><li>・「学びの地図」を活用して身に付けた資質・能力を日常の課題発見・解決に課す経験ができるように配慮されている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「学びへの扉」によって、学習活動の見通しが持て、自らの学習を調整しながら、対話的に理解や考えを深める構成になっている。</li><li>・巻頭に「主体的な学びのために」のページがあり、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</li><li>・最終ページ見開きの「ICT 活用のヒント」には各領域ごとに ICT 活用の学習活動の例示があり、ICT を活用しながら学びを進めようとする関心・意欲を高める工夫がされている。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・QR コードを活用した「国語の力試し」CBT や「書くことのミニレッスン」などのデジタルコンテンツが充実している。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「話す・聞く」の単元が3年間通して6つずつあり、様々な言語活動を通して知識・技能や思考力・判断力・表現力を高めていくことができる構成・配列である。</li><li>・「国語の力試し」が全学年に設定され、身に付けた資質・能力を活用できるよう工夫されている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・独自のフォントとユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすさに配慮している。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・表紙に絹目の用紙を採用しており、滑りにくい。</li><li>・「語彙ブック」が一回りサイズが小さく、すぐ引けるようにしている。デジタルコンテンツでも小学校までに学習した語彙を見ることができるように工夫されている。</li></ul>			

書

写

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 書写

発行者 番号	光村図書 38	教科書名	中学書写
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「学びのカギ」で全教材に学習のポイントを示し、書写学習の基礎・基本や原理・原則を明確にすることで、習得したことを普遍的に活用できるようにしている。</li><li>・別冊の「書写ブック」において、毛筆教材との関連を図った硬筆課題を設定し、毛筆での学習が硬筆に生かせるよう工夫されている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭に「中学書写スタートブック」を位置付け、書写の基礎・基本を分かりやすく示す工夫をしている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習の展開が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で構成され、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li><li>・「中学書写スタートブック」に、タブレットを活用した学習活動例が写真とともに掲載され、学習意欲を喚起する工夫がされている。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・二次元コードによる豊富な収録動画（運筆・体操動画：133点）により、運筆上のコツやポイントを繰り返し必要なだけ見ることができるよう工夫がされている。</li><li>・左利きの生徒の学びやすさに配慮し、用具の位置や書くときの手の位置を示した写真の掲載や動画を用意している。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化し、効率的に力を育成できるよう工夫がされている。</li><li>・「書き初めマスターブック」で文字文化の豊かさに触れることができるよう工夫がされている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・朱墨や筆使いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを擬音語とともに分かりやすく示している。また、数字入りマークを用いて筆圧と線の太さを分かりやすくする工夫をしている。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「中学書写スタートブック」「書き初めマスターブック」に、間伐材を利用したオリジナル用紙を用いて環境に配慮している。</li></ul>			

# 社会調査部会

社 会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 社会（地理的分野）

発行者 番号	帝国書院 4 6	教科書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・毎時間、思考する場面が設けられ、各節の振り返りで問いに関連した「見方・考え方」や思考ツールを示すなど、地理的事象を多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。</li><li>・学習の見通しと振り返りを通して、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」の実現がしやすくなっている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・見開き 1 時間の紙面が、興味・関心を引く「導入」、学習を見通せる「学習課題」、丁寧でわかりやすい「本文」、学習内容を振り返る「確認しよう」・「説明しよう」の展開で構成されている。</li><li>・本文側中及び QR コンテンツの中に用語解説が準備されている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・課題解決型学習を通して、対話的な学習活動が多く展開できる構成になっている。</li><li>・写真や資料に対して中学生に親しみやすいキャラクターが吹き出しで疑問を投げかけていて、対話的な学習活動を展開しやすくなっている。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・QR コンテンツを 1705 用意し、「個別最適な学び」を支援している。</li><li>・一人一台の端末を活用し、学習内容を「定着・深化」できるコンテンツやリンクなどが豊富に掲載されている。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1 見開き 1 単位時間が想定され、学習課題が明確に設定されている。</li><li>・標準授業時数 115 時間のうち 110 時間を活用する時数となっていて、妥当な量である。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本文の記述を補足する写真や図版などが大判で豊富に掲載されている。</li><li>・学習内容に関連する事項の参照ページやリンクが設けられている。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・写真や図版の印刷が明瞭かつ読み取りやすいように配慮されている。</li><li>・強度があり、長期間の使用も可能となっている。</li></ul>			

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 社会（歴史的分野）

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新編 新しい社会 歴史
-----------	-----------	------	-------------

## 1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について

- ・「みんなでチャレンジ」により、時期や年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながりなどの歴史的な見方・考え方ははたらかせる配慮がされている。
- ・分野関連を示すマークにより、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料があり多面的・多角的な学習ができるように工夫されている。

## 2 内容の程度および取り扱いについて

### (1) 基礎・基本の定着のための工夫

- ・「スキルアップ」により、学習に必要な技能を定着できるような工夫がされている。
- ・デジタル版用語解説「社会科用語マスター」により、社会科で学習する用語を確認することができる工夫がされている。

### (2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫

- ・「もっと知りたい」のコラムによって、学びを深めたり、広げたりできる工夫がされている。
- ・クイズや動画、白地図をぬってみよう等の豊富な QR コンテンツにより、主体的な学習活動を促すための工夫がされている。

### (3) 個に応じた指導のための工夫

- ・多様な「思考ツール」により、考えたことを整理しやすくなるような工夫がされている。
- ・QR コードにより、学習の内容理解につながる動画やシミュレーションなど多様なコンテンツにより、家庭学習でも個に応じた指導のための工夫がされている。

## 3 内容の構成・配列・分量

- ・教科関連を示すマークにより、教科横断的な学習が展開できるように工夫されている。
- ・各章末に年表や地図、グラフ、絵画資料等を掲載し、資料を読み取る力を養う工夫がされている。

## 4 表記・表現

- ・ユニバーサルフォントデザインにより、読みやすい工夫がされている。
- ・資料の背景と本文の背景の色が区別され、視覚的にわかりやすい工夫がされている。

## 5 体裁・使用上の便宜

- ・導入、展開、まとめの学習段階に応じて、最適な QR コンテンツがあり、家庭学習で学べるようになっている。
- ・教科書の右側に縦軸の年表があり、今の学習の時代が分かるようになっている。

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 社会（公民的分野）

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新編 新しい社会 公民
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようになっている。</li><li>・単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く探求課題を設定している。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本文や資料、「チェック&amp;トライ」、インデックスやQRコードなど、紙面の要素を定位置に配置したことで、学習の流れを「見える化」されている。</li><li>・「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようになっている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本時の内容の上に、生徒の興味・関心を誘うサブタイトルを設けてある。</li><li>・「18歳へのステップ」を設けることで、生徒の興味関心を高める身近で具体的な場面から、憲法・政治・経済をとらえ、主権者意識・消費者意識の醸成を促している。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「みんなでチャレンジ」を設けることで、小集団の協働的な活動を促し、深い学びにつなげることができる。</li><li>・導入・展開・まとめの学習段階に応じて、最適なコンテンツが用意されており、生徒の個別最適な学びや協働的な学びを支えている。</li><li>・QRコードを定位置に掲載し、迷わず、いつでも活用できるようになっている。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・巻末に、高等学校の必修科目を設け、「公共」について紹介するページの中で、中・高の橋渡しに配慮している。</li><li>・理科、道徳、家庭科など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、QRコードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、教科横断的な学習を促している。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・災害を扱った資料には、目次に※で表記され、指導の際の配慮を促している。</li><li>・色覚特性の観点から紙面や図版を見直し、カラーユニバーサルデザインに全面的に対応している。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、学習に集中できるフラットデザインになっている。</li></ul>			

# 地 図

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 社会 (地図)

発行者 番号	帝国書院 4 6	教科書名	中学校社会科地図
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地図帳の使い方の後のページで「地図で考える持続可能な社会」の内容が7ページに渡って、掲載することによって、多面的・多角的に考察する力を養うように配慮されている。</li><li>・地図全般に渡って、計103箇所、全156問「地図で発見」を設定することで、地図の読み取りなどの地図活用の技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせている「問い」を追及できるようになっている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大判の紙面を生かし、世界各州の鳥瞰表現の地図を設置することで、各州の地域的特色を大観し、概略をつかめるように工夫されている。</li><li>・我が国固有の領土や排他的経済水域がわかりやすく捉えやすいようになっていると共に、北方領土の歴史的経緯や竹島の詳細な地図も詳しく設定されている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・さまざまなイラストが入った親しみのある地図を多数掲載することで、修学旅行や、平和学習に活用できる地図を多数掲載されている。</li><li>・「歴史アイコン」(全31か所)と「公民アイコン」(全15か所)を設置することで、歴史的公民的分野の学習に活用できる工夫がされている。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習内容の習得や、生徒の調べ学習を支援するコンテンツを971用意し、「個別最適な学び」を支援している。</li><li>・地図帳に掲載しているQRコードからアクセスできるようにしていることで、個別最適な学びを推進している。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教科書に準拠し、「使い方・資料」、「世界」、「日本」、「統計」、「索引」に構成されている。</li><li>・資料図を同縮尺で示すことで、複数の図を比較・関連させて考察できるようになっている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすくなっている。</li><li>・地名を手話で表すコーナーを設置し、インクルーシブ教育に配慮されている。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教科書より大きなA3版で作られており、地図や資料が大きく見やすい。</li><li>・タイトルやページ番号、インデックスはそれぞれの位置を原則固定し、レイアウトの統一を図っている。</li></ul>			

# 数学調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 数学

発行者 番号	大日本図書 4	教科書名	数学の世界
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・さまざまな考え方が紹介されていることで、数量や図形の性質を見いだすヒントとなり、統合的・発展的に考えたり、数学的な表現を用いて説明したりする力を育成できるよう配慮されている。</li><li>・各章の活用場面において、問題発見・問題解決の流れの4ステップで説明し、数学的活動への取り組み方が分かるように工夫されており、対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「例」「例題」で解決の仕方を明確にし、「たしかめ」や「プラス・ワン」といった数多くの練習問題を設けるなど基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図れるような工夫が見られる。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各章の初めに、これから始まる学習への意欲や関心を高め、主体的に学習に取り組めるような工夫が見られる。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「プラス・ワン」や「力をのぼそう」、巻末の「前学年までの学習内容をふり返る問題」では、習熟度に応じた指導ができるような工夫が見られる。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・数学への興味関心を高めるために、日常や社会の事象について章の学習内容を活用しながら探求する教材が取り入れられている。章末問題では学習を生かして解決する発展問題も掲載されている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・見開き2ページが基本1時間扱いで、「考えよう（導入）」→「項のタイトル」→「めあて」→「例（解決の仕方を学ぶ問題）」または「活動（解決の仕方を見いだす問題）」→「Q（練習問題）」→「まとめ（赤枠で囲まれている）」の表記が見やすく、授業の流れがよく分かるように表記されている。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・デジタルコンテンツを使って学習が深められる場面に二次元コードが付けられ、シュミレーションや動画・資料などのコンテンツを視聴・閲覧することができるよう配慮されている。</li></ul>			

# 理科調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 理科

発行者 番号	大日本図書 4	教科書名	理科の世界
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教科等横断的な資料が掲載されている。</li><li>・問題解決の能力を意識しながら学習できるよう配慮されている。</li><li>・最新の話題が少ない。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マークを設けるなど具体例を示し、探究の過程に沿った学習が充実している。</li><li>・章末問題や単元末のまとめなど、生徒が個別に理解を深めるための工夫がされている。</li><li>・ICT の活用に課題がある。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・SDGs や防災と関連させ、学習内容に対し主体的に取り組みやすい構成になっている。</li><li>・理科で学んだことを、日常生活や文化・伝統・科学技術などにつなげて考えることができるような茨城県に関連した資料を採用している。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・理科の見方・考え方をはたらかせるための工夫が見られる。</li><li>・QR コードを使った資料や動画等の情報が少ない。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒が見通しをもって科学的に探究できる構成である。</li><li>・特別支援教育に配慮した構成である。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・用語や数値が、学習指導要領などに従い、正確性を期している。</li><li>・生物の大きさが正確に分かるようになっている。</li><li>・図や表の表現形式を統一して分かりやすくし、それぞれの内容が十分学習に活かされるように配慮している。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・観察・実験において、活動部分や結果例を色付き枠でまとめて示し、QR コードを巻末に集約するなどの工夫が見られる。</li></ul>			

# 音楽調査部会

# 音樂（一般）

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 音楽（一般）

発行者 番号	教育出版 17	教科書名	中学音楽 音楽のおくりもの
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習MAPとして、学習の目標と内容、学習の進め方「How to study」で音楽を形づくっている要素との関連が明記されており、学習に取り組みやすい。</li> <li>・鑑賞をまとめるページにおいて、どの「音楽を形づくっている要素」に注目して鑑賞をしたらよいのかが分かりやすく、表などでその特徴をまとめやすいように工夫されている。</li> </ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽を形づくっている要素」について、具体的に示した教材が盛り込まれており、要素について理解を深めることにつながる。</li> </ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動では、適度な条件をもとに活動するため、創作しやすい教材になっている。</li> <li>・歌唱、鑑賞の教材では、作品を比較するつくりになっており、音楽の特徴の違いを理解しやすくする工夫がされている。</li> </ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱に関する発声等の基本事項が分けて示されており、段階を追って身に付けていけるようになっている。また、指揮の技法についてイラストで具体的に説明されており、深い学びへとつながる工夫がされている。</li> </ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の形づくっている要素が、明記されておりポイントをしぼることができると同時に、評価に関連付けて技術を高めていくことができる構成である。</li> <li>・すべての学年の「Let's Try」で、日本音楽の体験ができる内容になっている。</li> </ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱教材では、その曲で扱う記号や音符がページ右側に記載されていて分かりやすい。</li> <li>・ページいっぱいの写真や絵など、図や資料が充実していて、視覚的にも分かりやすい。</li> <li>・SDGsとの関連が表記されて、学習との関連が分かりやすい。</li> </ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツの歌唱では、生徒の声で歌唱されていた。自分の声を表現していくうえで聞き取りやすく分かりやすい。</li> <li>・必要に応じて二次元バーコードが用意されており、読み込むとダイレクトに演奏動画やワークシートなど、活動に必要な資料を得ることができる。</li> <li>・光沢が抑えられた紙質で、光の反射が少なく見やすいものになっている。</li> </ul>			

音樂（器樂合奏）

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 音楽（器楽合奏）

発行者 番号	教育出版 17	教科書名	中学器楽 音楽のおくりもの
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「日本」から「世界」への音楽発信が分かりやすく提示してあることから、教科の目標に照らし合わせた内容が充実している。</li><li>・「さくらさくら」では、楽譜が大きく分かりやすく、音と目で音色を感じ取ることができる。また、和楽器以外の楽器でも取り上げられており、関連させて学習できるようになっている。</li><li>・歌唱や鑑賞の学習で取り扱う楽曲の楽譜が載っており、各領域を関連付けて学習できる。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・リコーダーや器楽全般の基本要素が冒頭に書かれており、教師側の説明と生徒側の理解がしやすい。また、音楽の基礎力定着のポイントが、随所に大きく可視化されている。</li><li>・リコーダーの教材では小学校での学習内容と共通したものが記載されており、アルトリコーダーの学習の導入をスムーズにし、基礎・基本を身に付けるのに最適である。また、楽曲の左右に運指が明記されており学習にとりかかりやすい。</li><li>・箏や三味線で楽曲の調弦が五線譜で明記されており調弦について定着できる。箏では、基本となる平調子の説明が中心にあり、焦点化しやすい。コンテンツ付きで、実際の音感をつかめる。</li><li>・練習曲の後に有名な楽曲という順で掲載されており、基礎・基本の定着に重きをおいている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アニメやその他、興味・関心を大いに引く楽譜が豊富にそろっている。</li><li>・ソロ・ペア・グループの楽譜があり、探究的な学びや対話的で深い学びにつながっている。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・箏では、「爪」のつけ方が詳しく図解してあるため、個別指導しやすい。</li><li>・ギターでは、メロディー奏法から入るなど、段階的に習得できるように構成されている。</li><li>・日本の伝統楽器では、唱歌を多く用いておりリズムを把握しやすい。</li><li>・楽器の背景にある文化や伝統について、発展した内容を指導できる。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業で扱う頻度の高い楽器について精選して記載されている。</li><li>・管楽器、弦楽器の系統ごとに配列されていて、楽器の音色を聴き比べる教材が設定されている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・箏は、横譜と縦譜が両方載っており、読みやすい方を選択できる。また、流派が明記されている。</li><li>・三味線の文化譜やギターのタブ譜など、各楽器の記譜法で記載されているのでわかりやすい。</li><li>・ギターは、コード表が写真で示されている。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・楽器や姿勢の写真、図や楽譜が大きく、各部の名称なども見やすい。</li></ul>			

# 美術調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 美術

発行者 番号	日本文教 116	教科書名	美術 1 美術 2・3 上 美術 2・3 下	美術との出会い 学びの実感と深まり 学びの探究と未来
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の目標がていねいで、子どもにとって分かりやすい文章になっている。</li> <li>○学習指導要領に表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力として示している〔共通事項〕の内容が学びの目標に具体的に書かれている。</li> <li>○表現と鑑賞の一体化を意識した紙面構成になっており、目標の書き方にも表れている。</li> <li>○どの題材名の下のところにも〈鑑賞の入り口〉として参考作品を使った導入に使える問いかけがあり、主体的・対話的で深い学びを促す内容になっている。</li> <li>○学習指導要領の配慮事項にある「道徳科との関連」を意識した「道徳とのつながり」が題材ごとに示されている。</li> <li>○題材によって、SDGs の関連する目標の番号を示している。</li> </ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「造形的な視点」で作品の見方に関するヒントを示し、「表現のヒント」で発想・構想の手立てや技能の方法が示されている。</li> <li>○巻末に「学びを支える資料」がある。</li> </ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの題材にも、動画「学びのはじめに」というQRコードから入るデジタルコンテンツを収録しており、授業の導入がしやすい。</li> <li>○作品の解説が多いのは、関心・意欲を高める効果がある。</li> <li>×作品の解説が多いため、生徒にとって主体的に考える機会を少なくしてしまう。</li> </ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材によって短時間でつくる作品を示している（課題が早く終わった生徒や特別な支援を要する生徒にも対応できる）。</li> <li>○カラーユニバーサルデザインが使用されている。</li> <li>○UDフォントが使われている。</li> </ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デザインの中の工芸がはっきり示されている。</li> <li>○「どこまで修復すべきか」という今の修復の考え方を踏まえた題材を取り上げている。</li> </ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の原寸写真…美術 1 P56-57「火焰型土器」、美術 2・3 上 P26-27「神奈川沖浪裏」・美術 2・3 下 P29「誕生」</li> <li>○白地を基調としており、作品がきれいに、落ち着いて見える。文字もすっきり見える。</li> <li>○著作権について書かれている。</li> <li>×作品の写真が小さくて見えにくい部分がある。</li> </ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○つや出しの紙で深い色合いが出る。指紋がつきにくい。</li> <li>○教科書が美術 1、美術 2・3 上、美術 2・3 下の 3 冊に分かれている。1 冊の分量がコンパクトにまとまっており、持ち運びしやすい。</li> <li>×3 冊に分かれて冊数が増えてしまうことによって、管理の手間が増える。</li> </ul>				

保健体育調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 保健体育

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新編 新しい保健体育
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することができるように、教科書全体の構成、各単元の流れ、口絵や章末の資料、QR コンテンツなどが工夫されている。</li><li>・巻末スキルブックには、保健分野の技能をはじめ、命や健康を守るために必要な 20 のスキルが、豊富なイラストや写真とともに分かりやすく示されている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめられており、キーワードはゴシック体となっている。また、各章末には、「キーワードの解説」の QR コンテンツが用意されている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「見つける」では、日常経験などから自他の課題発見につなげる発問が設定され、学習課題を自分のものとし、主体的に課題解決に取り組むことができるように配慮されている。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・QR コンテンツとして、興味・関心に応じて学びを深め広げることができる資料や、何度でも確認できる章末問題が用意されている。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各単元が「見つける」「学習課題」「課題の解決(発問、本文・資料、活用する)」「広げる」の構成で統一されており、流れに沿って学習を進めることができるよう工夫されている。</li><li>・1 単元が 1 単位時間 2 ページ構成(左側本文・右側資料)となっており、見通しをもって学習できるように配慮されている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全ての文字に、読みやすさに優れたユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、本文は、発達段階に応じた適切な用語で簡潔明瞭に表現されている。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・QR コンテンツがほとんどの単元に準備されており、外部リンクではないため、教材研究の時間を短縮することができる。</li></ul>			

# 技術調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 技術

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新編 新しい技術・家庭(技術分野) 未来を創る Technology
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・技術の見方・考え方が「社会からの要求」「安全性」「環境への負荷」「経済性」の観点で最適化として示されている。</li><li>・「技術分野の学習方法」では、思考ツールの活用においていろいろな図式の説明があり、思考をまとめるためのヒントも充実している。</li><li>・必要な基礎的な技能を「TECH Lab」としてまとめている。習得すべき内容を本文で示し、学習を深める内容を「技術のとびら」でまとめている。</li><li>・私たちの問題解決と社会における問題解決を比較しており、技術の最適化や持続可能な社会について考えられる内容になっている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「目標」が明示されているので、本時の目指す姿を捉えやすい。</li><li>・「学習課題」が疑問形で、焦点化されている。</li><li>・本文の解説・用語の説明・振り返りのリンクなどが充実している。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・登場するキャラクターの吹き出しが、学習課題に迫るきっかけを作っている。</li><li>・「編末資料」「技術の匠」「技術の工夫」等が、興味・関心を高める内容になっている。</li><li>・「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」のコーナーが活動を促す内容になっている。</li><li>・ページの最後に「まとめよう」「深めよう」「振り返ろう」が示されており、まとめの書き方を自分の言葉で書くように促している。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「安全」「環境」「伝統文化」等のマークがあり、何について書かれているのかが分かりやすい。</li><li>・右上のQRコードでは、動画や学習シート、思考ツールなどが充実している。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各編は、1章に知識・技能、2章に問題解決、3章に社会の発展について記載され、学習の構成が統一されている。</li><li>・各編の学習のまとめのページは、3観点に分けて作成されている。</li><li>・統合的な学習のための「統合的な問題解決」が追加され、具体的な2例が示されている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・表紙の教科名は大きく、サブタイトルは小さい。</li><li>・全体的に、ふりがな表記が多く見受けられる。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インデックスが、各編に色つきで横に全ページついている。</li><li>・最初のガイダンス部分に、見開きページが付いている。</li><li>・デジタルコンテンツを活用しやすいように、DマークやQRコードがついている。</li><li>・索引は2ページ分にまとめられている。</li></ul>			

# 家庭調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 家庭

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「問題の発見→課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦」といった問題解決のプロセスを Warm up で丁寧に説明するとともに、生活の課題と実践ではより具体的に解説し、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されている。</li><li>・生活を営む見方・考え方をマークやキャラクターのせりふで表現し、その視点から多面的に見つめることで、生徒の「問い」を引き出す問題発見・課題設定ができるように工夫されている。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・QR コンテンツには、動画やシュミレーション（疑似体験）、ワークシートなど 8 種類 370 超の豊富なコンテンツがあり、1 人 1 台端末で活用することで基礎・基本の定着を図るよう工夫されている。</li><li>・「他教科リンク」では学習内容に関連する小学校や他教科の教科書紙面を表示している。学習の振り返りや教科横断的な学習に活用することで、基礎・基本の定着を図れるよう工夫されている。</li><li>・実習や生活の中で基礎技能をまとめた「いつも確かめよう」や見開きページ右下の「まとめよう」のコーナーで、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるように工夫されている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」では、主体的に調べたり、友達と協力して比較・検討できたりするなど、深い学びが実現できる。また、考えを可視化できる思考ツールを活用することで、問題解決能力を高めることができるように工夫されている。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・掲載資料が多く、生徒一人一人の学習進度や個に応じた学びを進められるよう工夫されている。</li><li>・調理や布製作の実習例では、様々な難易度の題材を取り揃え、生徒や学校の実態に応じて選択できるよう配慮されている。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の構成を、自立から共生へ向かうストーリーで展開することで、生徒の発達段階や興味・関心等、広く対応できる構成となっている。</li><li>・巻末に「家庭分野と SDGs」を設けるとともに、2～6 編の最終章は持続可能な生活を目指した内容で構成され、全ての学習でこれからの生活を工夫できるように配慮されている。</li></ul> <p><b>4 表記・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全ての見開きに QR コードが掲載されており、リストから関連するコンテンツにアクセスできる。</li></ul> <p><b>5 体裁・使用上の便宜</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・つながる紙面（折り込みページ）を効果的に活用して、学びの意欲を高めることができる。</li></ul>			

# 外国語（英語）調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 外国語（英語）

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	NEW HORIZON English Course
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Stage Activity では、日本の文化の紹介やディベートなどにおける、複数の領域を統合した言語活動を通して、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしながら、思考力・判断力・表現力が身につくよう配慮がされている。</li><li>• 各単元も、目的・場面・状況や Goal が明確になっており、4 技能 5 領域を統合的に取り扱った言語活動で、思考力・判断力・表現力を高め、即興的に話せる力をつけることができる。</li><li>• 生活習慣の違いや世界遺産などの国際理解を深めるための題材を取り上げたり、マッピングの活用や表現を共有する活動を設定したりするなど、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための工夫が見られる。</li></ul> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 各パートに Practice があり、基本文を用いて英語を話したり、英文を書いたりする活動が含まれているため、英語が苦手な生徒にとってもわかりやすく、スモールステップで基礎・基本の定着が確実に図ることのできる工夫がされている。</li><li>• 本文と Key Sentences がつながっているため、状況や場面を意識しながら定着を図ることができるようになっている。</li></ul> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Real Life English では、テーマや話題が目的・場面・状況を意識しやすく、高い意欲をもって学習に取り組めるようになっている。</li><li>• Thinking から Speaking や Writing へのつながりを意識した教材になっているため、アウトプットを十分にできる配慮がなされている。思考ツールを生かした Active Sheet がある。</li><li>• 話題の人物やスポーツ選手、日本の伝統文化や歴史など、生徒の身近な題材を取り上げることで主体的に英語学習に取り組める工夫がなされている。</li><li>• 語句、Key Sentence に関するクイズは、興味関心を高めると考えられる。</li></ul> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 基本文を用いて自分について書いたり発表したりできるように、各 Unit の終わりに Unit Activity があり、個に応じた活動ができるようになっている。</li><li>• Practice では、Key sentences を pattern の練習で定着した後に、自分の考えを表現できるようにになっているので、学習につまずきがちな生徒にはスモールステップを踏んで学習に取り組むことができる。</li><li>• QR コンテンツ（語順／単語・文法／思考ツールなど）が充実しているために、生徒個々の英語力に応じた形で英語学習に取り組むことができる。</li></ul> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 1 年生：99 時間 2 年生：98 時間 3 年生：88 時間</li><li>• Preview→Part1→Part2→Read and Think1,2→Unit Activity</li><li>• 前年度までのまとめの単元として、各学年初めに Unit 0 を設定している。</li><li>• 学年ごとに、「自己紹介や他者紹介、学校生活」「職業体験、国際交流」から「環境保全、国際社会の平和」という配列で、関心のある事柄や日常的な話題から社会的な話題へ徐々に視野を広げながら、言語活動を行うことができる特色がある。</li></ul>			

- ・中1のProgram 1では、be動詞と一般動詞が同時に扱われており、生徒が混乱せずに理解できるような、授業構成や指導の工夫が必要である。
- ・高等学校への接続の観点から、入試で扱われる分量を想定して段階的に英文の量や活動の種類を充実させているが、文字が小さく、英文の語彙数が多すぎると感じられる単元もある。英語が得意な生徒には効果的と考えられるが、英語が苦手な生徒への意欲喚起が難しい可能性がある。
- ・小学校での既習事項が可視化されている。小学校での学びを生かした”Enjoy Communication”が活用できる。
- ・ラウンドリーディングで考えを深めて表現する構成になっている。
- ・どの学年にもSDGsに関する内容を取り上げている単元があり、実生活とのつながりが意識されている。
- ・Can doリストとは学期ごと、前後の学年の目標、中3には高校の到達目標も記載され、学びの見通しを意識している。

#### 4 表記・表現

- ・3年生の文字が小さい。
- ・2・3年生の教科書では、単語の発音記号が色違いになっていてわかりやすい。
- ・文字習得に負担がないように、UD書体やローマン体、ブロック体の字体を生徒の学年に応じて使い分けているので、読みやすくなっている。
- ・イラストが多く、ポスターやメッセージの画面等が実生活に近いものがある。また、レイアウトのバランスもよい。

#### 5 体裁・使用上の便宜

- ・QRコンテンツの内容が充実しており、生徒が個別学習するときも自ら進んでできるような作りになっている。
- ・必要に応じて参照のページが記載されており、学習した内容の予習・復習がしやすい。
- ・巻末の語順カードが、英文の構造理解に役立つ。
- ・鮮明なイラストや写真を扱ったり、二次元コードに本文と語句の音声、クイズ、文法解説動画、検索機能のあるデジタル用例辞典等を掲載したりするなど、イラストや写真、デジタルコンテンツが効果的に使用されている工夫がみられる。

# 道徳調査部会

# 選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

中学校 教科 道徳

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新編 新しい道徳
<p><b>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</b></p> <p>○読み物教材に加え、漫画やグラフ、新聞の投書など、さまざまな形の教材が用意されており、物事を多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</p> <p>○現代的課題（いじめ問題、生命の尊さ、情報モラル、SDGs、多様性）に対応した教材や現代社会で活躍している人物、中学生にとって身近な題材を取り上げ、生徒が興味関心をもちやすい教材を通して人間としての生き方について考えを深められるようにすることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てられるように配慮されている。</p> <p>○各教材末の「考えよう」と「自分を見つめよう」に加え、「考えようをぐっと深める（補助発問）」が設定され、人間としての生き方を深く考えるための手助けとなるよう配慮されている。</p> <p>○ねらいとする内容項目がぶれないよう教材の冒頭に学習テーマ（みんなで考える観点）や教材に関連した漫画の1コマを設定して、教材末の発問と呼応させることで教材全体を通して道徳的価値に迫ることができよう配慮されている。</p> <p><b>2 内容の程度および取り扱いについて</b></p> <p>○問題意識をもち、自分との関わりで考えることができるように、生徒が自分で問いを立てて話し合う活動を設定したり、考えを可視化する思考ツールや役割演技のページを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>○各教材に「つぶやき」を設け、考えたことを生徒が各自メモできるようになっており、メモしたことが話し合いにも活用できるよう配慮されている。</p> <p>○生徒が話し合う時間を確保するための教材の見直しが図られ、考え方を固定しかねない記述を削除するなど、朗読時間を減らす工夫が見られる。</p> <p>○言葉に表しにくい気持ちの変化や割合を伝えられるよう、巻末に付属として付いているカラーで厚紙の心情円、デジタル心情円を用意し、授業に活用できる工夫が見られる。</p> <p>○イラストや図、漫画教材、新聞など、さまざまな教材を通し、自分と他者との考えを比較しながら多様な価値観に触れる工夫が見られる。</p> <p><b>3 内容の構成・配列・分量</b></p> <p>○各学年の教科書は、本編教材、「Plus」（コラム）、付録教材の3つで構成されており、コラムや付録教材を活用することで、本編教材の充実を図り、道徳性を養えるよう配慮されている。</p> <p>○「いじめの問題」「生命尊重」は、ユニット教材として取り上げ、各学年が同時期に学習するように年間計画に配置するなど、発達段階に応じた教材を配置した点に特色がある。</p> <p>○小中の関連を図った教材（「橋の上のおおかみ」、「泣いた赤鬼」など）を配置するなど、系統</p>			

的な学習ができる教材の配置に特色がある。

○学校行事や生徒の生活実態に合わせ、指導内容と指導時期を考慮して教材が配列されている。

#### 4 表記・表現

○中学生にとって難しい表現を避け、読解にかからないよう配慮されている。

○シンプルで読みやすく、誤認しにくいユニバーサルデザインフォトの書体を使用し、中学校配当漢字、未習漢字に振り仮名を付けるなどの工夫が見られる。

○道徳の4つの視点をマークで表示し、分かりやすくする工夫が見られる。

○QRコードが教材冒頭の定位置に掲載され、生徒の学びを阻害しないよう配慮されている。また、QRコードわきにマークが表示され、デジタルコンテンツの内容が分かるよう工夫されている。

#### 5 体裁・使用上の便宜

○生徒の心に訴えかけるよう、視覚効果の高いワイドなAB判が採用されている。

○教材や挿絵には、性別による偏りがないように配慮されている。

○全ての教材にQRコードを設け、関連動画、他教科の教科書表紙面、教材のあらすじを簡単に理解しやすくする4コマ漫画、情報活用サイト等、授業に役立つ様々なコンテンツを参照でき、学びを広げるための工夫が見られる。

○速度調節機能が付いた朗読音声を用意されており、教材の読み取りに困難を抱える生徒や外国籍の生徒などが取り残されないための配慮が見られる。

○指導者用デジタルブックに生徒たちが記入できるアンケートフォーム、指導書コンテンツライブラリーに評価文例作成システムなど、振り返りや評価に役立つコンテンツが収録されており、準備から評価が効率的に進められる配慮が見られる。